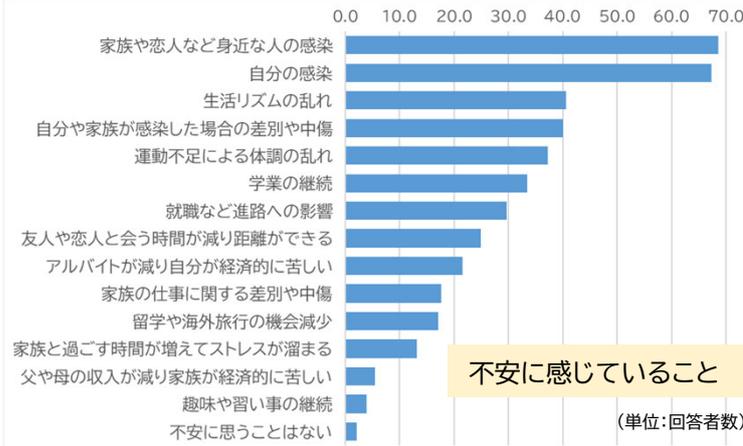


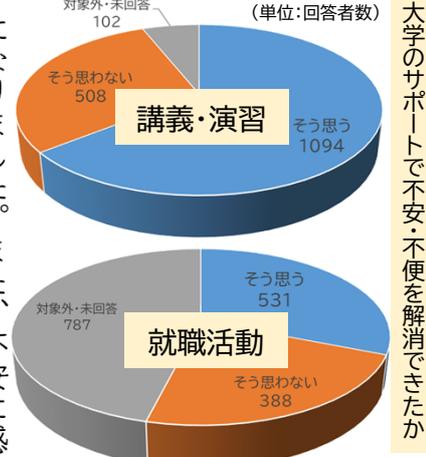
学生生活に関する 在学生アンケート の結果を紹介します COVID-19 対策本部・学生支援センター

本学では、新型コロナウイルス感染症の影響で学修や学生生活がどのように変化したか把握することを目的に、10月～11月の間に在学生アンケートを実施しました。学部生の66%にあたる約千七百名からご回答をいただきました。その結果、新型コロナウイルスの影響で**自宅での勉強**(回答者の82%)、**睡眠**(60%)、**家族と過ごす**(59%)等の時間が増えた一方で、**学校での勉強**(83%)、**友人との交流**(82%)、**外出**(72%)等の時間が減ったことが明らか



になりまし。また、不安に感じていることとしては、約7割の学生が**本人や家族の感染**を挙げていました(左上図)。不安な時の主な相談相手は、**家族・親戚**(74%)、**大学の友人**(59%)、**地元の友人**(55%)等が挙げられました。本学のサポートを通じて不安や不便を解消できたかとの質問については、**講義・演習**では6割以上の学生が「そう思う(どちらかといえばそう思うを含む)」と回答しましたが、**就職活動**等ではまだ不安を感じている学生が多いこともわかりました。

本学では、このアンケートで寄せられた学生の皆さんの声を集計・分析し改善を進めて参ります。特に**授業やその連絡方法**に関して多くの学生にご意見をいただきました。改善結果は、また遠隔授業だより等を通じて皆さんにお知らせいたします。



大学のサポートで不安・不便を解消できたか

年末年始の感染拡大防止

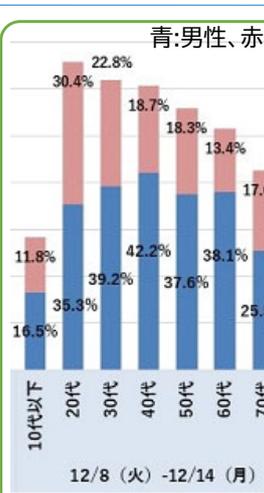
学校医・感染制御学教育研究センター

感染拡大が続く中、12月11日に政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会は、「忘年会・新年会・成人式等及び帰省についての提言」を公表しました。既に学生支援センターから学生の皆さん周知していますが、年末年始で特に重要な点を改めてお伝えします。

【忘年会・新年会】忘年会・新年会で最も大切なことは、なるべく普段から一緒にいる人と少人数で開催することです。特に大人数の「忘年会・新年会」は見送り、オンライン忘年会・新年会を検討することが推奨されています。

【成人式】体調が悪い人は参加しないことや、会場やその周囲では密集をしない等の基本的な対策を徹底することが求められています。また、「式典の前後には飲食を控えること」が推奨されています。

【POINT】接触率等不明者の割合
世代別の接触者不明者の割合をみると、20代で65%を超えてとりわけ高く、日常生活の中でリスクの高い場面が多いことがわかります。(グラフは東京都のHPから引用)



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をする事で、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



新型コロナウイルス感染症対策分科会「感染リスクが高まる5つの場面」より

【初詣・カウントダウンイベント等】初詣は、混雑する時期を避けることが推奨されています。各種イベントは、主催者にオンライン開催を含め慎重な検討が求められていますので、参加についても慎重に判断してください。

【帰省】年末年始の帰省は、時期の分散のみならず、延期も含め慎重に検討することが求められています。特に大人数の会食を控えるなど、高齢者等への感染につながらないよう注意喚起されています。

これらの場面に共通するリスクとしては「マスクなしでの会話」が挙げられます。大学内と異なりマスクを外す場面が増えがちですが、場面を問わず会話時にはマスクを着用するよう努めてください。お互いにリスクを減らすよう留意し、よいお年をお迎えください。

